



日本シティズンシップ教育フォーラム  
2022 年度 事業報告書

(2022.01.01～2022.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 1 丁目 2 番 20 号ハイツアメニティ II-203 号室

mail : [info@jcef.jp](mailto:info@jcef.jp) web : <http://jcef.jp>

## 目次

1. 2022 年度事業のハイライト	2
2. 2022 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	6
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	13
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	13
4. 会計報告	別添資料参照

## 設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

## 1. 2022 年度事業のハイライト

- (1) 「第 9 回シティズンシップ教育ミーティング」は「シティズンシップ教育の『これから』に求められるチャレンジとは？」をテーマにオンライン開催。日本全国から 62 名の方々が申し込み。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2022」をオンライン開催。日本全国から 130 名の方々が申し込み。報告は 44 本のエントリー。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」はオンラインで 6 回開催。対面実施となる KOBE スタヂオも再開。

## 2. 2022 年度事業実施体制

J-CEF では、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関として運営委員会を設置してきました。そして、事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて専門部会を設置した上で、その執行にあたってきました。2022 年度の総会において大規模な組織改編が行われたことから、この事業実施体制も変更され、事業ごとに設けられるプロジェクトチームを中心とした運

営に切り替わりました。そのため、今年度の事業報告書では総会までの体制と、組織改編後の体制の両方を記載しております。

## ■役員（五十音順）

《2022年3月20日まで》\*所属・肩書きは当時のもの

### 【運営委員】

- 代表 古田雄一（筑波大学人間系助教）  
 黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）
- 副代表 川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）  
 古野香織（認定NPO法人カタリバ）
- 委員 大畑方人（ドルトン東京学園中等部・高等部教諭／上智大学総合人間科学部非常勤講師）  
 越智大貴（NPO法人こどもNPOシビックスクール理事）  
 唐木清志（筑波大学人間系教授）  
 川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）  
 北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）  
 斉藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター講師）  
 土肥潤也（NPO法人わかものまちな事務所長）  
 林 大介（浦和大学社会学部准教授／模擬選挙推進ネットワーク代表）  
 東 大地（NPO法人Mielka理事）  
 若槻 健（関西大学文学部教授）

### 【監事】

- 市川享子（東海大学健康学部講師）  
 西野偉彦（松下政経塾政経研究所主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

### 【アドバイザー】

- 岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）  
 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）  
 長沼 豊（学習院大学文学部教授）  
 杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）  
 中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）  
 水山光春（京都橘大学国際英語学部教授）

### 〈ネットワークング部会〉

- 中村陽一、斉藤仁一朗、土肥潤也、東大地、古野香織

### 〈研究推進部会〉

- 川口広美、唐木清志、川中大輔、北山夕華、斉藤仁一朗、古田雄一、古野香織、橋崎頼子（専門委員）

### 〈若者支援部会〉

○小玉重夫、越智大貴、杉浦真理、土肥潤也、中村陽一

〈出版企画検討部会〉

○唐木清志、大畑方人、岡田泰孝、川中大輔、林大介、古田雄一、水山光春、若槻健

〈J-CEF スタディ・スタジオ担当委員〉

齊藤仁一朗、古野香織、古田雄一

岡本愛香（専門委員）、小田切瑞生（専門委員）、浜田未貴（専門委員）、別木萌果（専門委員）

#### ■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第 24 回	2021 年 1 月 7 日 19:00~21:00	オンライン	2021 年度決算案および事業報告案の承認、組織改編に関する事項、2022 年度予算案および事業計画案の策定、通常総会招集の決定

《2022年3月21日から》

#### 【マネジメントチーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）

黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

齊藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）〈座長〉

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

#### 【第 9 回シチズンシップ教育ミーティング実行委員会】

市川享子（東海大学健康学部講師）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院修士課程）

黒崎洋介（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）

土肥潤也（NPO 法人わかものまちな事務所長）

藤枝 聡（立教大学国際センター・日本語教育センター）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

#### 【シチズンシップ教育研究大会 2022 実行委員会】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）〈副委員長〉

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

堀本麻由子（東海大学文学部准教授）〈委員長〉

若槻 健（関西大学文学部教授）

〈大会シンポジウム実行委員会〉

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）〈委員長〉

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部准教授）

南浦涼介（東京学芸大学教育学部准教授）

【J-CEF スタディ・スタジオ運営チーム】

伊藤真琴（お茶の水女子大学文教育学部）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院修士課程）

小田切瑞生（山梨県立高校教諭）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

玉井慎也（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）

野瀬 輝（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）

浜田未貴（社会人）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

【高校生ソーシャルデザインスクールチーム】

藤原怜央（NPO 法人 Mielka／大阪経済大学学生）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

宮嶋凜（東京大学学生）

高校生メンバー

【出版企画検討チーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授／シチズンシップ共育企画代表）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）〈座長〉

【監事】

市川享子（東海大学健康学部講師）

西野偉彦（松下政経塾政経研究所主任／慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

プロジェクトチームごとに会議がもたれて事業が推進された。その他、マネジメントチームの会議を不定期で開催し、組織運営に係る調整を行った。

## ■事務局

事務局/会計責任者 川中大輔

## 3. 事業報告

### (1) ネットワーキングの場の創出

#### ■「第9回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第9回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。今年度もCOVID-19パンデミックの影響を受けてオンラインで実施する形となりました。

#### 【開催概要】

- 日時：2022年3月20日（日） 13時～17時
- 場所：オンライン
- 参加者：62名（会員33名、非会員29名）
- テーマ：「シティズンシップ教育の『これから』に求められるチャレンジとは？」
- 登壇者

#### 〈問題提起〉

齊藤仁一朗さん（東海大学課程資格教育センター講師）

#### 〈パネリスト〉（五十音順）

甲斐田万智子さん（認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事、文京学院大学教授）

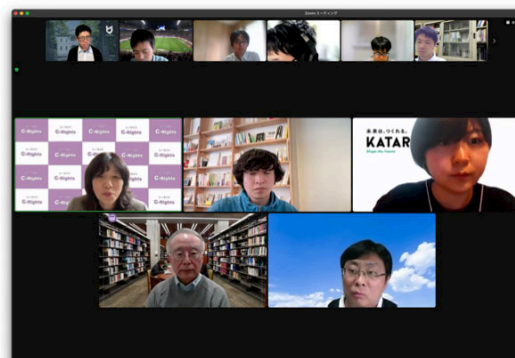
中村陽一さん（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

華井裕隆さん（埼玉県立いずみ高等学校教諭・筑波大学人間総合科学研究科）

古野香織さん（認定NPO法人カタリバ）

#### 〈ファシリテーター〉

土肥潤也さん（NPO法人わかものまちな事務所長）



#### ■「シティズンシップ教育研究大会2022」を開催

J-CEFでは、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会2022」を開催しました。

## 【開催概要】

- 日時：2022年10月2日（日）10時～17時15分（アフタートーク18時30分まで）
- 場所：オンライン
- 参加者：130名（一般53名、学生・院生73名、高校生4名）
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

## ▼シンポジウム

- ・テーマ：「インクルージョンとシティズンシップ—教育においてどう結びつけるか」
- ・登壇者：金和永さん（NPO 法人クロスベース）  
原田大介さん（関西学院大学）  
南浦涼介さん（東京学芸大学）
- ・コーディネーター：北山夕華さん（大阪大学）  
橋崎頼子さん（奈良教育大学）



## ▼自由研究発表セッション

## [第1-1 分科会]

司会：川中大輔さん（龍谷大学）

副司会：川口広美さん（広島大学）

(1) 高1) 社会の「内なるグローバル化」と学校での「多文化共生」に関わる教員研修の考察

—2022年度実施の教員研修プログラムを手がかりとして—

坂口真康さん（兵庫教育大学）

坂口（山田）有芸さん（元日本国際交流センター）・

山田文乃さん（立命館大学・兵庫教育大学連合大学院）

(2) 多文化国家におけるシティズンシップ教育と言語政策・実践の関係から見たエスニック・マイノリ

ティの子どもたちのためのインクルーシブな学習機会の創出

Nyein Su Hlaing さん（岡山大学大学院）

(3) 不登校問題における包摂と排除

—「不登校経験」に関する事例調査および三部制定時制高校の意義と社会的課題に着目して—

藤田琢弥さん・藤井健人さん（埼玉県立大宮商業高等学校定時制課程）

## [第1-2 分科会]

司会：小玉重夫さん（東京大学）

副司会：小栗優貴さん（愛知教育大学）

(1) インクルージョンに基づくシティズンシップの理論と市民像—M.C.ヌスバウムのコスモポリタン市民論の検討を通して—

早瀬博典さん（筑波大学）

(2) 何ものかであり何ものでもないものの可能性—キャリア教育の批判的検討—

伊木海音さん（東京大学大学院）

(3) 中等教育における市民的責任感の育成に関する研究—社会系教科と道徳の違いに注目して—

蔣馨瑶さん（岡山大学大学院）

#### [第 1-3 分科会]

司会：古田雄一さん（筑波大学）

副司会：両角達平さん（日本福祉大学）

(1) 市民アドボカシーを学び実践する中学生向け授業の開発—政治的リテラシーを涵養する探究学習—

郡司日奈乃さん（千葉大学大学院）

(2) 実践的な環境シティズンシップの育成を目指した社会科授業の方法の解明—SDGs の達成に取り組む中高等学校の実践の分析を通して—

張 亜婷さん（岡山大学大学院）

(3) 家庭でのエデュケーショナル・マルトリートメントへ声をあげる困難性に向き合うことを目指した社会科単元開発—社会福祉支援と社会科教育の協働可能性に注目して—

高見史織さん（広島大学大学院）

#### [第 1-4 分科会]

司会：岡田泰孝さん（お茶の水女子大学）

副司会：堀本麻由子さん（東洋大学）

(1) 全体主義的な思想をもつ生徒を社会科教師はどう受容するか—ジョン・ロールズ『政治的リベラリズム』の挑戦—

今 陽童さん（埼玉県立大宮東高等学校）

(2) 子どもの文脈に基づく論争問題学習の実証的な研究—中学校社会科公民的分野の単元開発を通して—

木下博斗さん（愛媛大学教職大学院）

(3) 国際社会を構造的に捉えさせる小学校社会科の授業開発研究—第 6 学年国際単元における論争問題を取り上げた授業開発を事例として—

筒井 佑さん（岡山大学大学院）

#### [第 1-5 分科会]

司会：唐木清志さん（筑波大学）

副司会：井上昌善さん（愛媛大学）

(1) ゲストティーチャーの効果的な活用と家族対話を通して社会問題を自分事にする単元開発—小学校



- 4年生 総合的な学習の時間「SDGsの目標達成に向けて」の実践から—  
茂木正浩さん（星槎大学大学院）
- (2) 産学官連携による地域活性化を目指したプロジェクト型学習—米国のチャータースクール High Tech High の取り組みを参考として—  
瀨野優貴さん（滋賀県立彦根東高等学校）
- (3) 価値調整力に焦点化したリーガルマインドの育成—法律の専門家が主導する単元開発を事例として—  
宮本あゆはさん（岡山大学大学院）

## [第 1-6 分科会]

司会：若槻 健さん（関西大学）

副司会：林 大介さん（浦和大学）

- (1) 主権者教育論にみる権利保障論と教育実践論  
小林勇樹さん（長野県教育委員会事務局北信教育事務所）
- (2) 人権という概念の再構成化—中学2年道徳授業前後のアンケートに着目して—  
松田万里阿さん（麗澤中学・高等学校）
- (3) グローバル・シティズンシップの育成をめざした中等社会科カリキュラムの研究—米国の教材分析を踏まえて—  
劉 馨羽さん（岡山大学大学院）

## [第 1-7 分科会]

司会：水山光春さん（京都橘大学）

副司会：藤枝 聡さん（立教大学）

- (1) 「地球人」として未来を創る生徒と私のエスノグラフィー—自文化と自言語を多角的に考えながら対話力の向上を目指す授業実践—  
Yang Lihwa さん（慶應義塾大学大学院）
- (2) 第 11 回国際学生フォーラムは民主的文化のための能力向上に寄与したか  
森山 新さん（お茶の水女子大学）
- (3) 日本語教材における異文化理解の方法に関する研究—国際交流基金著『まるごと 日本のことばと文化』の分析を通して—  
王 曉軻さん（岡山大学大学院）

## [第 1-8 分科会]

司会：黒崎洋介さん（神奈川県立瀬谷西高等学校）

副司会：古野香織さん（認定 NPO 法人カタリバ）

- (1) 教科外活動や自主的な活動における「学び」を考える—本来感を持って生きるには—  
 榎原まひろさん（東京大学教育学部附属中等教育学校生徒）
- (2) 校則をテーマとする日本史授業はどのように通常カリキュラムで開発・実践可能か—単元「律令国家の形成」の場合—  
 奥村 尚さん（独立研究者）  
 山村向志さん（千葉県立姉崎高等学校）
- (3) 多様な性（Queer）の留学生のライフストーリー研究—インターセクショナルリティ（交差性）の視点から—  
 澤田彬良さん（筑波大学大学院）

## [第 2-1 分科会]

司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

副司会：小玉重夫さん（東京大学）

- (1) スウェーデンにおけるシティズンシップ教育—義務教育課程のカリキュラム分析—  
 松本大輝さん（大阪大学大学院）
- (2) 欧州評議会におけるヨーロッパ・シティズンシップ教育の展開と課題—EDC/HRE の理念と教育方法に着目して—  
 氏井紅葉さん（上智大学大学院）
- (3) 異文化理解能力の育成を目指したシティズンシップ教育カリキュラムの構成原理—オーストラリアのナショナルカリキュラムの分析を通して—  
 永田なつきさん（岡山大学大学院）

## [第 2-2 分科会]

司会：藤枝聡さん（立教大学）

副司会：小栗優貴さん（愛知教育大学）

- (1) 公立学校における日本語指導の在り方を考える—「特別の教育課程」による日本語指導の実施例から—  
 波多野滯さん（大阪大学大学院）
- (2) 公立小学校に在籍する外国人児童教育に関する研究—外国人児童の包摂と教員間の連携に着目して—  
 赤澤摩耶さん（筑波大学大学院）
- (3) 外国にルーツをもつ子どもに対する地域教育の試み—多文化共生の取り組みを中心に—  
 謝 芯怡さん（岡山大学大学院）

## [第 2-3 分科会]

司会：齊藤仁一朗さん（東海大学）

副司会：唐木清志さん（筑波大学）

(1) 小学校教師の社会科観に関する研究—インタビュー調査に基づいて—

福田友香さん（岡山大学大学院）

(2) マラウイ共和国の社会科教師を志望する大学生の社会科教育観—‘Please help me’が言える社会—

吉野華恵さん（東京大学大学院）

(3) 言語政策における教師の指導観の変化に関する研究—小学校学習指導要領改訂に注目して—

劉 夢君さん（岡山大学大学院）

#### [第 2-4 分科会]

司会：川口広美さん（広島大学）

副司会：水山光春さん（京都橘大学）

(1) ESD を通して育成される資質・能力の解明—日本における高等学校の実践の分析を通して—

NING SIXU さん（岡山大学大学院）

(2) デジタル・シティズンシップ教育の実践—GoogleInterLand で始めるシティズンシップ—

野口雄毅さん（南房総市立富山中学校）

(3) VUCA・持続不可能な時代とシティズンシップ—デジタルシティズンシップ、ESDfor2030—

長岡素彦さん（一般社団法人地域連携プラットフォーム）

#### [第 2-5 分科会]

司会：林 大介さん（浦和大学）

副司会：古田雄一さん（筑波大学）

(1) こども家庭庁設置法等の成立と求められる理念の施策への流し込み

宮崎一徳さん（参議院事務局・内閣委員会調査室長）

(2) 「公共性」からみたコミュニティ・スクールの現状と課題—ナショナル・レベルにおける政策の分析

を中心にして—

柳瀬賢佑さん（明石市立望海中学校）・坂口真康さん（兵庫教育大学）

(3) ネオリベリズムへの抵抗と順応の両立—日本のオルタナティブ教育運動における社会的正義のレ

トリック—

藤根雅之さん（関東学院大学）

#### [第 2-6 分科会]

司会：北山夕華さん（大阪大学）

副司会：若槻 健さん（関西大学）

(1) 現代におけるシティズンシップの課題と限界—『国家を歌うのは誰か?』に見るパフォーマンス・ヴィ

ティの政治—

小野裕太さん（東京大学大学院）

(2) 学校生活における X ジェンダーの日常実践から見る学校という存在—3 名の FtX の語りから—

鈴木亜湖さん（東京大学大学院）

(3) 論文発刊後に研究者はいかに省察し社会的責任を果たしているか？—別木・玉井（2022）「生理用品の歴史」論文の SNS 反響指標に注目して—

玉井慎也さん（広島大学大学院）

別木萌果さん（東京都立小川高等学校）

#### [第 2-7 分科会]

司会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：堀本麻由子さん（東洋大学）

(1) 学校と保護者の新たな関係の在り方に関する一考察—PTA 組織にみる保護者の教育権—

藤澤文徳さん（上越教育大学大学院）

(2) 小学校教育における地域連携の意義と方法に関する研究—連携を通じた子どもの変容に注目して—

波多野雅俊さん（岡山大学大学院）

#### ■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

シティズンシップ教育に関する報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタヂオ」を開催しました。

##### 〈Online スタヂオ〉

・ vol.13 (2/6) 「『対話』について対話する」

・ vol.14 (3/13) 「主権者教育における高大接続改革を考える—立教サービ斯拉ーニング (RSL) / 『シティズン

シップを考える』の実践から (2021 衆院選を素材に) —」(話題提供者：小玉重夫さん (東京大学大学院教授)、清水彩乃さん・石山綾香さん (立教大学学生)、中田奈穂美さん・津坂登紀子さん (香蘭女学校教員)、田中花蓮さん・中里朱里さん (香蘭女学校生徒)、福原充さん・大森真穂さん (立教大学立教サービ斯拉ーニングセンター教育研究コーディネーター)、藤枝聡さん (立教大学総長室次長))

・ vol.15 (5/15) 「十人十色の『シティズンシップ』：私が『シティズンシップ』を定義するとしたら…」

・ vol.16 (7/3) 「参院選特別企画『もし私が政治家になるなら』」

・ vol.17 (10/29) 「学びのハードルを下げるには…？～大人になっても学び続ける環境作りを考える～」(話題提供者：深澤まどかさん/シブヤ大学)

・ vol.18 (12/4) 「シティズンシップにつながる遊びの場—プレーパークの実践をもとに—」(話題提供



者：石原遼さん／のざわテットーひろば)

#### 〈KYOTO スタジオ〉

- ・ vol.35 (12/20) 「主権者教育のカードゲーム『民独』を体験してみよう！」(話題提供者：藤原怜央さん／NPO 法人 Mielka) \*開催中止となりました

#### 〈KOBE スタジオ〉

- ・ vol.45 (12/6) 「2022 年を振り返り、次の動きを展望する」

### ■ 「高校生ソーシャルデザインスクール」の開催

政治参加や社会参加の実践や探究に取り組んでいる高校生世代の若者がネットワーキングを進めつつ、各人の問題意識を共有し、特定の社会課題について対話を行う場として「高校生ソーシャルデザインスクール」を設けています。高校生メンバーを中心に学生・院生がサポーターとして企画運営を進めておりますが、今年度の活動はチーム内部での検討にとどまりました。

## (2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

### ■ Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告およびコミュニティの運営）、Twitter を更新継続しています。現在、設立 10 周年の節目にウェブサイトを全面リニューアルする準備を進めています。

○URL : <http://jcef.jp>

### ■ 新たな出版物に関する企画検討

設立 10 周年の記念事業として新たな出版物を発行するため、出版企画検討チームにおいて内容構成の検討や出版社との調整を進めています。

## (3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

### ■ 若者の社会発信の機会提供

「シティズンシップ教育研究大会」や「J-CEF スタディ・スタジオ」、「高校生ソーシャルデザイン・スクール」などの企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会や交流機会を提供しました。

## 4. 会計報告

別添資料参照

以上